



# 第27回 全国青少年武徳祭



日時：令和4年7月18日（月・祝）  
午前11時

場所：京都市旧武徳殿

主催：一般社団法人 大日本武徳会

後援：京都府・京都市

# 大会次第

進行 藤井 正巳

## 平安神宮

平安神宮祈願祭  
午前10時30分より

修 祓  
玉 串 拝 礼  
奉 納 演 武

濱 田 鉄 心

居合道 日本古武道 晟慶館  
空手道 形意和真流唐手道 武学館

渡 邊 眞 子  
四 方 星 凜

## 開 会 式

午前11時00分

役 員 選 手 入 場  
太 鼓 の 合 図  
開 会 宣 言  
国 歌 斉 唱  
黙 禱 ・ チ ャ イ ム  
団 体 最 優 秀 杯 返 還 式

坂 本 俊 一  
竹 田 豊

空手道 日本古式武道協会 拳正会

濱 田 鉄 心  
島ノ江奏汰・森下弥月  
東伏見慈晃総裁  
上 村 雅 彦

大 会 開 会 式 辞  
開 会 の 辞  
選 手 宣 誓

空 手 道 正 守 和 道 塾

近 藤 佑 樹  
山 田 文 典

演 武 上 の 心 が け  
祓 い の 儀

居合道 一心無双流居合道 剣心会  
空手道 日本古式武道協会 拳正会

小 田 朱 乃  
日 笠 叶 翔

## 演 武

演 武  
納 め の 儀

居合道 北陸連盟修童館  
居合道 日本古武道 武公館道場

山 越 唯 衣 花  
芝 原 有 華 里

## 閉 会 式

午後12時30分

役 員 選 手 整 列  
表 彰  
講 評  
閉 会 の 辞  
閉 会 宣 言  
太 鼓 の 合 図

役 員 全 員  
中 田 浩 大  
濱 田 鉄 心  
藤 井 正 巳  
坂 本 俊 一

参加者全員集合記念写真

# 第27回 全国青少年武徳祭 表彰

## 団体最優秀賞

京都府 正守和道塾

## 団体特別賞【6団体】

- 大阪府 日本古式武道協会 拳正会
- 京都府 形意和真流唐手道 武学館
- 石川県 こばと修童館
- 大阪府 日本古武道 武公館道場
- 大阪府 日本古武道 晟慶館
- 京都府・滋賀県 一心無双流居合道 剣心会

## 個人賞

## 個人優秀賞【7名】

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 大阪府 日本古武道 武公館道場      | 芝原有華里 |
| 大阪府 日本古式武道協会 拳正会     | 日笠 叶翔 |
| 京都府 正守和道塾            | 近藤 佑樹 |
| 京都府 形意和真流唐手道 武学館     | 四方 星凜 |
| 石川県 こばと修童館           | 山越唯衣花 |
| 大阪府 日本古武道 晟慶館        | 渡邊 眞子 |
| 京都府・滋賀県 一心無双流居合道 剣心会 | 小田 朱乃 |



## 第二十七回 全国青少年武徳祭 実施結果報告

国際部 坂本 俊一

令和四年七月十八日、第二十七回全国青少年武徳祭が、京都旧武徳殿において三年ぶりに開催されました。天候にも恵まれ、青少年のキラキラした目と汗が眩しく感じられるような、非常に活気のある大会となりました。また、この度の大会は昨年ご逝去された桑原兵充副総裁の偉業を称える追悼大会という位置づけでもありました。

青少年武徳祭は伝統武道を通じた青少年育成を目的とし、平成七年（一九九五）に第一回が開催され現在に至っておりますが、この二年間はコロナ禍の折、大会を中止せざるを得なかったところです。日々の稽古すらまともにできないような状態で、大人ですらモチベーションの維持に苦慮するようなどころ、ましてや成長期にある青少年の皆さんの心技体を現状維持し更には上げていくことは、非常に大変だったと思われれます。にもかかわらず、この度の大会が非常に盛り上がった大会であったことは、この点、先生方の弛まないご努力とご父兄の皆様が多なるご理解と応援があったことからその結果だったと思えました。

大会は、まず平安神宮での祈願祭及び奉納演武から始まりました。午前十時三十分祈願祭が予定通り行われ、濱田鉄心先生による玉串拝礼の後、日本古武道最慶館の渡邊眞子さんによる居合道、更に形意和真流唐手道武学館の四方星凜さんによる空手道の演武が奉納されました。緊張して当然のところ、その素振りを微塵も見せない堂々たる演武で、見ている我々の方が背筋の伸びる思いがいたしました。

その後、武徳殿に戻り、開会式と相成りました。開会式では、正守和道塾の近藤祐樹さんが青少年らしいいきびきびした態度で選手宣誓を行いました。続いて、払いの儀が執り行われ、一心無双流居合道剣心会の小田朱乃さんによる居合道、及び日本古式武道協会拳正会の日笠叶翔さんによる空手道の演武が披露されました。二人とも、腰の据わった堂々たる演武でした。

そして、午後十一時ころから各道場のグループごとに演武が披露され、総勢

八十人強もの青少年が日ごろの鍛錬の成果を思う存分発揮しておりました。日頃あれだけ一所懸命稽古して、そしてその結果がこの数分に結集される、武徳殿で披露できる、先生や親に見てもらえるという喜び、選手のみなさんの充実した顔がそれを物語っているようでした。

演武の最後に納めの儀が執り行われ、北陸連盟修童館の山越唯衣花さん及び日本古武道武公館道場の芝原有華里さんが居合道の演武を披露されました。二人とも流れるような美しい動きで、まさに締めくくりにふさわしい演武でした。

その後、閉会式・表彰式に移り、閉会式の後には、武徳殿内において全員で記念写真を撮影し、すべての行事が無事終了と相成りました。

私見ではありますが、大会を通じて一番印象に残ったのは、選手のみならず父兄の皆様が見学されている方々が非常に整然とされていたことです。行儀がよいといった方がよいのかもしれませんが、武徳殿への出入りの際の礼儀は勿論のこと、係の者の指示にも素直に従っていただき、撮影のための移動や見学場所での様子も肅々となされており、さすがは武道を志す青少年の親御さんたちだと感じました。

また、コロナ禍の大会であることを選手と見学者がともに理解して、手指の消毒やマスクの着用、その他の基本的な予防対策を徹底していただいております。コロナ禍での武道大会の在り方というものの形が出来上がってきたように感じる大会でした。

先に述べましたように、青少年の成長は大人と比較して著しく早いもので、彼らの一年は大人の何年にも相当します。今年参加できなかった来年は受験で無理というようなお子様もおられるでしょう。その意味におきまして、今年、コロナ禍でも対策を尽くして大会を实行できましたことは、素晴らしいことだったと思います。大会実施のためご尽力くださった皆さんや大会実施にご理解いただいた各道場の先生方、ご父兄の皆様、そして選手の皆様にご感謝申し上げます。最後に、来年もまた素晴らしい大会が開催できますことを祈念いたしまして、報告いたします。

## 御礼の御挨拶

第27回全国青少年武徳祭も皆様の多大なるご協力と御支援によりお陰様で無事盛大裡に終了いたしました。  
 ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

一般社団法人大日本武徳会

### 大会参与

ご協賛及びお祝金をいただいた個人及び団体（順不同）

御 芳 名	御 芳 名
濱田 鉄心 様	桑原家 様
中田 武太 様	竹田 豊 様
山田 文典 様	北川 茂 様
藤原 弘喜 様	滝山 昭 様
日本古式武道協会 拳正会 様	有限会社ギフト大洋 様
木下 公子 様	株式会社松栄堂 様
渡邊 祥正 様	







第二十七回全国青少年武徳祭  
桑原兵充先生・副総裁追悼大会に  
参加して

一心無双流居合道剣心会

高校三年

小田 朱乃

コロナ禍にて中々開催されなかった青少年武徳祭が三年ぶりに行われ喜ばしいことだなと感じました。

今年は私が青少年武徳祭に出場することが出来る最後の年で、また祓いの儀式も任されたのでたいへん緊張いたしました。演武含め無事怪我等なく終えることができた良い節目となったかなと思えました。

正守和道塾

中学二年

近藤 佑樹

先日は、全国青少年武徳祭に参加させていただき、ありがとうございます。久しぶりに旧武徳殿に立ち、とても気持ちが引き締まりました。

今回は、權とヌンチャクの形を演武しました。普段の練習ではマスク着用で形をうつので、息があがっても表情に出さないことが容易でしたが、今回は息があがった顔を見せてしまったことが大きな反省点です。

權の形である津堅赤人之エークと双節棍の形である大観之ヌンチャクは、一〇歳のころに初めてうった形で、とても思い入れの強い形であります。五年前、これらの形をフランス武徳祭で演武したことを懐かしく思いました。

今大会では選手宣誓という役をいただき、緊張しましたが、とても光栄で嬉しく思いました。そして、団体最優秀賞、個人優秀賞をいただきましたこと、とても嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

濱田先生のお言葉は、このご時世に必要な心構えと、鍛錬によって武道を極めていく術の教えであり、私の心に響きました。

これからもたくさんの方の経験を、強い心を持ち、自分の道を歩みながら、成長した演武ができるように努力していきたいと思えます。

正守和道塾

小学四年

木村 奏汰

僕は初めて大会に参加して、始まる前にみんなで練習しました。初めは緊張したけど、みんなで頑張って優勝できたので、嬉しかったです。トロフィーをもらえて良かったです。

正守和道塾

小学三年

茂松 隼実

知らない型や上手な人の型がすごかったです。棒を早く動かすのはたいへんなのにすごかったです。ぼくも強い技や棒をつかった型をしてみたいです。そのためにがんばります。

正守和道塾

小学一年

茂松 沙藍

ドキドキした。めっちゃ人いた。すごいひといた。すごいかたあった。じょうずにできた。

正守和道塾

中学校一年

藤本 望鈴

私は、第二十七回全国青少年武徳祭に参加して、色々な道場の方々、色々な学年の方々の演武をみて勉強になりました。空手道の他に居合道、徒手術と、どれも素晴らしい演武でした。

この第二十七回全国青少年武徳祭で出会いもありました。気さくに話しかけてくださってとても良い方でした。第二十七回全国青少年武徳祭ではただ演武するだけではなく、新たな出会いやつながりもあり本当に素敵なお場所に参加させていただき、感謝しかありません。また、このようなところで演武させてもらうことを楽しみに待っています。

正守和道塾  
中学校一年 吉田 芽生

私は、小五の時に一回でしたが、また出れたので良かったです。それと、今回は練習通りに上手くはいきませんでした。みんなで楽しくできたので私は良かったかなと思いました。またみんなで出れたらいいなと思います。

正守和道塾  
中学校二年 渡辺虎太郎

平安神宮でのご祈祷から始まり、武徳殿で団体演武をし、なかなか経験できないことをさせていただき、先生方、両親に感謝の気持ちでいっぱいです。最優秀賞のカップをいただき、写真もとっていただき、たくさん素敵な思い出が残りました。今後このような伝統ある古武道の武徳祭に先生方と一緒に来年もこの先ずっと参加できればうれしいことです。そして、伝統武道をもっと勉強し、後世に伝えていける立派な人になりたいと思います。

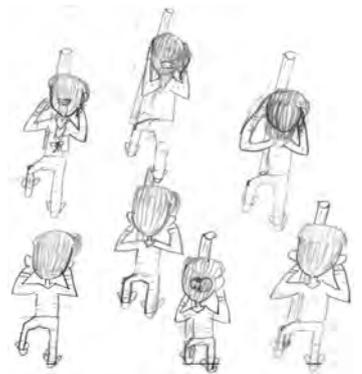
正守和道塾  
中学校二年 西澤 優豪

僕は大会の前日にリーダーと決められて、とても嬉しかったけど、ちゃんとリーダーシップとっていけるかとても心配でした。でも、自分を信じたら、やれると思いました。

そして、当日、僕は空手で大会を出場するのは、初めてできんちょうしました。そして、僕たちの番がきて、ヌンチャクと棒術をしました。ヌンチャクで一つできていない所があり、大丈夫かなと思いついて、そして、実際にやってみると、ちゃんとできて嬉しかったです。棒術もみんなできて、楽しかったです。先生もほめてくれて嬉しかったです。次の冬の大会に向けて練習をがんばりたいです。

正守和道塾  
小学校一年生 熊谷 花

とつてもきんちょうしたけれどたのしかったです。



正守和道塾  
小学校四年生 竹原 莉愛

私はこの大会にでてミスったりしたけど、たのしかったしがんばったのでよかったです。次もがんばります。

正守和道塾  
小学校四年生 藤本 琉雅

みんなががんばって練習したことを最大げん発揮できて、たくさんさんの練習はむだじゃなかったんだと思いました。なのでこれらの練習はいつも以上、がんばろうと思います。



正守和道塾  
小学校三年生 遠藤 七斗

大会へ行く前はきんちょうしていたけど大会へ行くのがんばろうという気でがんばれたと思いました。



正守和道塾  
小学校二年生 長柄 実来

もつともつとれんしゅうをがんばってつよくなりました。がんばるぞ。



正守和道塾  
小学校三年生

森田 蓮斗

全国青少年武徳祭にはじめて出ました。きんちようしたけど、できてよかったです、楽しかったです。これからも、たくさん練習して、うまくなりたいと思いました。



正守和道塾  
小学校三年生

岩崎 直弥

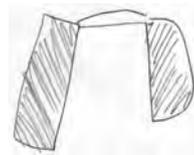
十二月にむけて、さいゆうしゅうしょうをとるためにぬんちやくや、かたをがんばっていききたいです。



正守和道塾  
小学校五年生

岩崎 唯

はじめは、すぐきんちようしたけれど、やっている間に全然きんちようしなくなっていったので一生けん命、かたができました。これからはずっと、黒帯を目指してがんばりたいです。



正守和道塾  
小学校三年生

岩崎 智弥

さいゆうしゅうしょうをとるためにもっと練習したいと思いました。



正守和道塾  
小学校一年

竹原 乃愛

きんちようしたけどがんばりました。

正守和道塾  
小学校三年

西村 大毅

きんちようしたけどまたやりたいです。あと楽しかったです。

正守和道塾  
小学校三年

岡野 凌久

ぼくは全国青少年ぶとくさいにいられたことをありがたく思っています。また、コロナで大会を開いていただきありがとうございます。また大会に出たいです。

正守和道塾  
小学校三年

熊谷 桃

はじめの大会で、とってもきんちようして、空手の大会がはじまった時、ほかの人たちのえんぶを見て、とってもじんがなくなりました。ぬんちやくが、まちがえずできたので、よかったです。へいあん二だんもできていて、よかったです。きんちようしたし、できるかしんばいでした。大会にでてよかったです。また、大会にでたいです。

正守和道塾  
小学校四年

中島 康誠

きちようなたいけんをさせていただきました。きんちようしました。

正守和道塾  
小学校四年

長柄 芽依

さいしよは、きんちようしたけど、どんどんなれてきて楽しかったし、つかれました。これからも空手をがんばりたいです。

正守和道塾  
小学校五年

吉田 陽

たいへんだったけどがんばりました。

正守和道塾  
小学校五年

西澤 瑠唯

どこのチームもかたがそろっていたので、多く練習をしていたのだなと思いました。ぼくはけがで見学していたのですがみんながんばってえんぶしていたので、すごかったです。ぼくも出場したいなと思いました。

正守和道塾  
小学校六年 竹原 優斗

ぼくは、この大会にでて次回にむけてがんばっていきたいと思います。

こばと修童館  
中学校二年生 山越唯衣花

納めの儀でも緊張していましたが、いっぱい練習したのでやる内容が忘れずに出来たのでよかったです。これからも努力してがんばっていきたいです。今回の納めの儀は、先生からも「楽しんでこい！」と言われていて、初めは、緊張で全然楽しめなかったけど、やっていくうちに緊張もほぐれて、いつも通りではなかったけど精一杯できたのでよかったです！

こばと修童館  
小学校五年生 南 太一

ぼくは初めて武徳祭に参加して、とてもきん張したけど練習した成果をだしきれたと思います。これからも、もっと上手になれるようがんばりたいです。

こばと修童館  
小学校五年生 井川 龍騎

ぼくは大会の一週間ほど前に特訓をしました。練習で気をつけた所は、つきのときに体ごと前に出すこと、大きな声、礼の仕方、本居合の三本目の受け流しの時に素早く回す事です。当日、平安神宮でおはらいをしてもらって武徳殿に行く建物がとてもふるくてびっくりしました。大会本番で一ヶ所、間ちがえてしまいい、くやしかったけれど長田先生や他の先生に教えてもらい上手に出来て良かったです。来年もがんばります。

こばと修童館  
小学校六年生 高田 礼仕

ぼくは、武徳祭で発表する時に練習してきた成果を出すために自分の中での本気を出して大きな声を出して一生けん命居合をすることができてよかったです。この経験を生かして十二月の審査でいい結果を出したいです。

こばと修童館  
小学校六年生 久志井陽向

今年の武徳祭で特別団体賞をもらえてよかったです。理由は、十個以上の団体が来て演武していて、そこから特別団体賞をとれたからです。来年の武徳祭でも団体賞を取れるといいと思います。

こばと修童館  
小学校六年生 北村 未歩

ゆう勝はできなかったけど、自分では満足できる演技ができたのでよかったです。

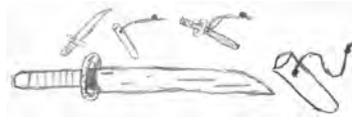
こばと修童館  
中学校一年生 廣川 雄士  
居合道 修童館に 通い続けた 僕の送迎 ありがとう

こばと修童館  
小学校五年生 永瀨 匠真

ぼくは、少年武徳祭の号令係をしました。修童館で練習した時、あまり大きな声が意識できませんでした。京都の武徳殿について練習した時も、きんちようであまり大きな声がだせませんでした。でも、本番では、きんちようよりがんばるうとする気持ちが大きかったので、自分では満足のいく声が出てよかったです。自分のえんぶの時も声を意識したけど、団体を動かす号令の時は、特に大きな声を意識することができました。えんぶのほうも、かんべきではなかったけれど、特にこれといった大きなミスがなくてよかったです。残念ながら、団体の優勝も、自分の団体の中の個人賞もとれなかったけれど、この少年武徳祭での経験が、これからのけいこに生かされるといいなと思います。まだまだ、自分のえんぶには改ぜんできる所があるので、次の大きな大会では、この少年武徳祭のえんぶよりも、もっとレベルアップしたえんぶや声などががんばりたいです。他の団体の人は、とても声が大きかったので、大会で一番自分ががんばったと思う声は、もっとレベルアップさせていきたいです。こういう機会はありませんので、この経験をまた思い出し、けいこをがんばりたいです。

こばと修童館  
 小学校五年生  
**和田 花**

全員が今までの成果を出すことができてよかったと思います。来年の大会では、もっと上達した姿でいどみたいです。



私は、本居合の二本のリーダーをして、最初は足を出しすぎず半足にしてやること等を意識してできていたと思います。私の次の目標は、大会の時にはできなかつたはずじをとおすことです。これからはしつかり練習して十月ぐらいの安宅の関の時等に生かせるようがんばりたいと思いました。もちろん一日目の観光もとっても楽しかったのでまた行けたらいいなと思いました。

こばと修童館  
 小学校五年生  
**濱永 和佐**



形意和真流唐手道 武学館  
 小学校一年  
**中澤 快星**

きんちようしたけれど、たのしかったです。

形意和真流唐手道 武学館  
 小学校一年  
**前野日向子**

からてをするのがおそかった。

形意和真流唐手道 武学館  
 小学校二年  
**藤原芙瑛子**

せいしようねんぶとくさいは、チームでいろいろなわざをだせてうれしかったです。そしていろいろなところからきてくれた人たちのわざもみれました。つぎは、もつとチームでがんばっていきたいとおもっています。それにもつといろいろなわざをできるようになつていきたいと思います。ほんとうにたのしかったです。

形意和真流唐手道 武学館  
 小学校二年  
**宇野 由人**

自分がえんぎのかたをしていろいろな人を見ていきんちようしました。はつぽだれんかんけんるときにと中だけ手がぎやくになつたけどつぎやつてみたらできたからうれしかったです。

形意和真流唐手道 武学館  
 小学校三年  
**中澤 太陽**

きんちようしていたけれど、ちゃんとできてよかつた。

形意和真流唐手道 武学館  
 小学校三年  
**前野 大智**

まつのがながくてひまだったけど、みんなとできてうれしかったです。

形意和真流唐手道 武学館  
 小学校四年  
**鹿島 歩美**

はじめての武徳祭はとても楽しかったです。なぜかというみんなと平安じんぐうに行つたときじんじやの中にはじめて入つたから少しわくわくしたからです。武徳祭では八方だれんかんけんと全員で四ほうをしました。出番がさいしょのほうだったので少しきんちようはしましたが、みんなとやっていたらだんだんきんちようがほぐれていったのでやっているとちゆうも少しずつではあるけど楽しくなつていきました。今まで練習してきたせいかやぐにたつたので自分にはしつぱいをしていないと思います。来年もコロナがおちついてきたら武徳祭にできるだけだいたいと思います。できるだけたくさんのことにチャレンジできたらいなと思います。次武徳祭に出る時は前よりも、もつとカッコよくえんぶができたらいなと思うしふだんのけいこをもつとがんばつて次のおびになれるようにがんばりたいです。武徳祭が終わつたときはとてもほつとしました。みんなにめいわくをかけずにおどれてよかつたです。

形意和真流唐手道 武学館  
小学校六年 藤原 芙迅

他の武道や自分たちの武道のせいかをはつきでできたのでよかったです。そしてあの時を思いだしながらいこしていききたいと思います。

形意和真流唐手道 武学館  
小学校六年 大西 直仁

自分たちの団体だけでなく他の団体を見れたから見本になったし他の団体と比べることもできたので良かったです。

形意和真流唐手道 武学館  
小学校六年 岸田 旭

三年ぶりの武徳祭。一生けんめいの演武をして、見るのが、とてもうれしいです。これからも一つ一つの技を極め演武をしたいです。

形意和真流唐手道 武学館  
中学校二年 四方 星凜

使命感を燃やして奉納演武に望み、今まで経験した事のない緊張感に包まれながら、新たな経験と責務を果たすことができました。

振り返ると四歳から空手をはじめ、礼儀や作法を通し、身体的・精神的な強さが身についたと思います。幼い頃から目指していた黒帯となり、このような神聖な場所で演武することができ、忘れられない貴重な体験となりました。

このような貴重な体験ができたのは、武徳祭を開催して下さった先生方、熱心に教えて頂いている藤原先生、細かく指導して下さった黒帯の先輩方、そして支えてくれた後輩たちのおかげだと思っています。この経験を、後輩に継承していきたいと思います。

一心無双流 剣心会  
小学校二年 山田 一颯

全国青少年ぶとくさいにさんかしていいあいをしました。小田さんといっしょにしました。えんぶ中まちがえないように頭の中で、考えていました。いっぱいいいことをしていたので、じしんはあつたけど、ほんばんでしっぱいしたくないので、頭の中で考えていました。まちがえなかったです。

学校の絵日記に書けそうでよかったです。

正守和道塾  
小学校五年 西村 苺華

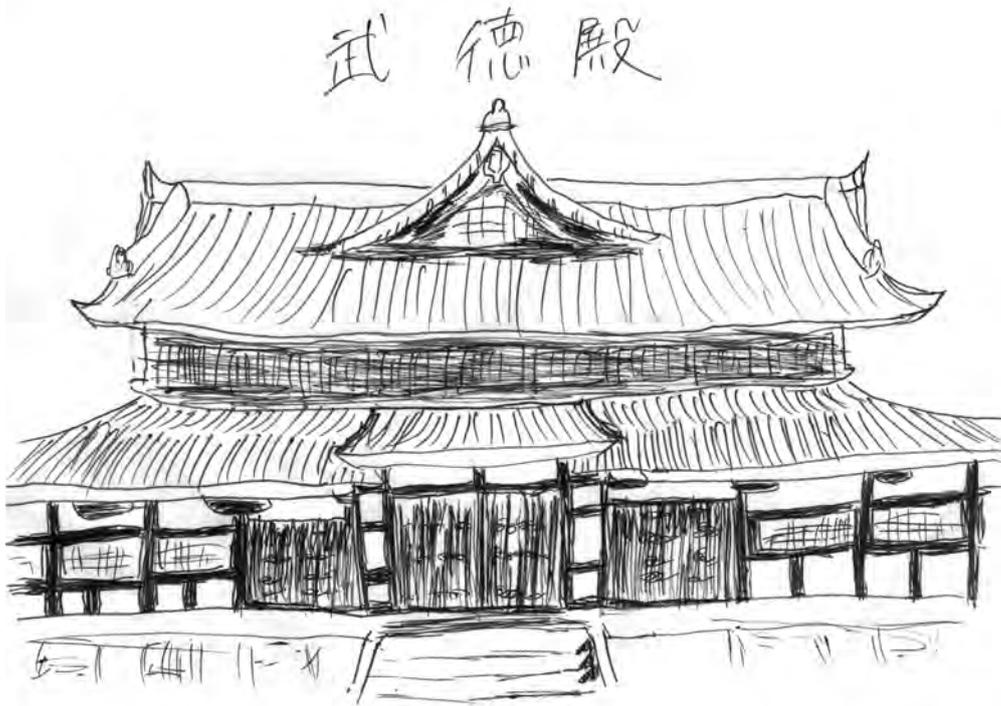


日本古武道 晟慶館  
小学校一年 古屋ましろ

いっはいいとかいってきん  
ちようしましたけとかんは  
りました。

形意和真流唐手道 武学館  
小学校三年 横原 れん





形意和真流唐手道 武学館  
中学三年生

久保 舞栞

## 第二十七回全国青少年武徳祭を終えて

第二十七回全国青少年武徳祭管理運営委員長

理事

山田 文典

コロナ禍により三年ぶりの開催となりました第二十七回全国青少年武徳祭が、七月十八日、京都市旧武徳殿におきまして盛会の内に終えることができました。今回、会場内外での事故防止やコロナウイルス感染防止はもとより、早朝から会場の設営、終了後の後片付けまでボランティアとしてご協力頂きました各団体の先生方に厚く御礼申し上げます。

コロナ感染が日本各地において再拡大していた厳しい状況下、参加者への感染が及ばないか危惧しておりましたが、各団体長、保護者の皆様のご協力のお陰をもちまして事前の健康管理に万全を図って頂いたこと、更に準武道執行専門委員を主体とした管理運営委員の努力により、厳正な入場者管理を徹底したことで会場内の密を避け、全員マスクの着用、無用な会話をしないなど会場秩序が厳守され、高品位な安全が保持された会場での開催となった結果であったと思えます。

参加した青少年達は、安全管理の保たれた会場で、日頃の修練の結果を十分に発揮し、気迫に満ちた演武を披露してくれました。

私は、閉会式で整列した青少年達の自信に満ちた凛々しい姿から、本会の明るい未来が見えたように感じました。

来年は、もっと盛大に開催したいと思えます。更なるご協力をよろしくお願ひ申し上げます。